

龍馬と学ぼう

日商簿記 1 級

# 日商簿記 1 級フリーテキスト講座

<工業簿記 2> 材料費

全 7 枚



お持ちのテキストの該当の章を読んだうえで視聴して下さい

弥生カレッジCMCのフリーテキスト講座（無料動画で公開中）

今日は、材料費の内容をしっかりと見ていきましょう

まずは2級のフリーテキストのレジメを読んでください。

読んでわからなかったら、まずは2級フリーテキスト講座をしっかりと確認して下さい

工業簿記で日商1級に挫折する方は多いです。

ほとんどの方は、2級の論点をしっかりと押さえていないケースがほとんどです。

日商1級の135回では、基本的な論点が問われています(日商2級なみ)

基本をおろそかにしないようにして下さい。

## 材料副費の論点を整理しよう

外部副費（外部の会社に支払う費用－把握しやすいので実際配賦が多い）

内部副費（社内経費の振替－把握しにくいので予定配賦のケースが多い）

期首

期末

STEP 1

予算決定

STEP 2

予定配賦率

STEP 3

予定配賦額

STEP 4

実際配賦（差異認識）

決算

原価に加算

### STEP 2

予定配賦率の計算

前年度の材料購入額が 10,000,000 円

倉庫会社への外注費 600,000

工場事務員の材料発注担当者の人件費 400,000

配賦率 =  $1,000,000 / 10,000,000 = 10\%$

### STEP 3

予定配賦額で仕訳

材料 10,000 円を掛けで購入した。引取り費用 500 円を現金で支払った。内部材料副費は 10% で予定配賦している。

材料 10,000 + (購入代価 × 10%) + 500

材料 11,500 / 買掛金 10,000

現金 500

材料副費 1,000

### STEP 4

実際配賦

差異仕訳の前に下記の仕訳あったと考えます

外注費 700 / 現金 1,200

給与 500

材料副費 1,200 / 諸口 1,200

差異 200 / 材料副費 200

決算

売上原価 200 / 差異 200

<全経上級 158 回より類題>

当月発生材料副費

購入事務費	購入手数料	引取運賃	検収費	保管費
5,000	3,000	6,000	4,000	10,000

材料副費は直接材料購入額（100,000 円）に加算するものについては購入金額に基づいて各直接材料に配賦している。なお、内部材料副費は製造間接費としている。

まずは外部と内部を分類しなければなりません。

外部の取引先に支払うものが外部副費と考えて下さい。

購入手数料・引取運賃ですね 9,000 円

それ以外は内部副費となります 19,000 円

仕掛品 109,000 / 材料 128,000

製造間接費 19,000

日商 1 級・全経上級では、このように外部副費と内部副費を自分で判断するような問題も出ます。しっかり確認しておきましょう。

(参考) 原価計算基準

(四) 材料の購入原価は、原則として実際の購入原価とし、次のいずれかの金額によって計算する。

- 1 購入代価に買入手数料、引取運賃、荷役費、保険料、関税等材料買入に要した引取費用を加算した金額
- 2 購入代価に引取費用ならびに購入事務、検収、整理、選別、手入、保管等に要した費用（引取費用と合わせて以下これを「材料副費」という。）を加算した金額。ただし、必要ある場合には、引取費用以外の材料副費の一部を購入代価に加算しないことができる。

購入代価に加算する材料副費の一部又は全部は、これを予定配賦率によって計算することができる。予定配賦率は、一定期間の材料副費の予定総額を、その期間における材料の予定購入代価又は予定購入数量の総額をもって除して算定する。ただし、購入事務費、検収費、整理費、選別費、手入費、保管費等については、それぞれに適当な予定配賦率を設定することができる。

材料副費の一部を材料の購入原価に算入しない場合には、これを間接経費に属する項目とし又は材料費に配賦する。

## 棚卸減耗費に関する注意事項

材料費というのは製造工程での消費をいい、保管過程での材料は材料費と考えません

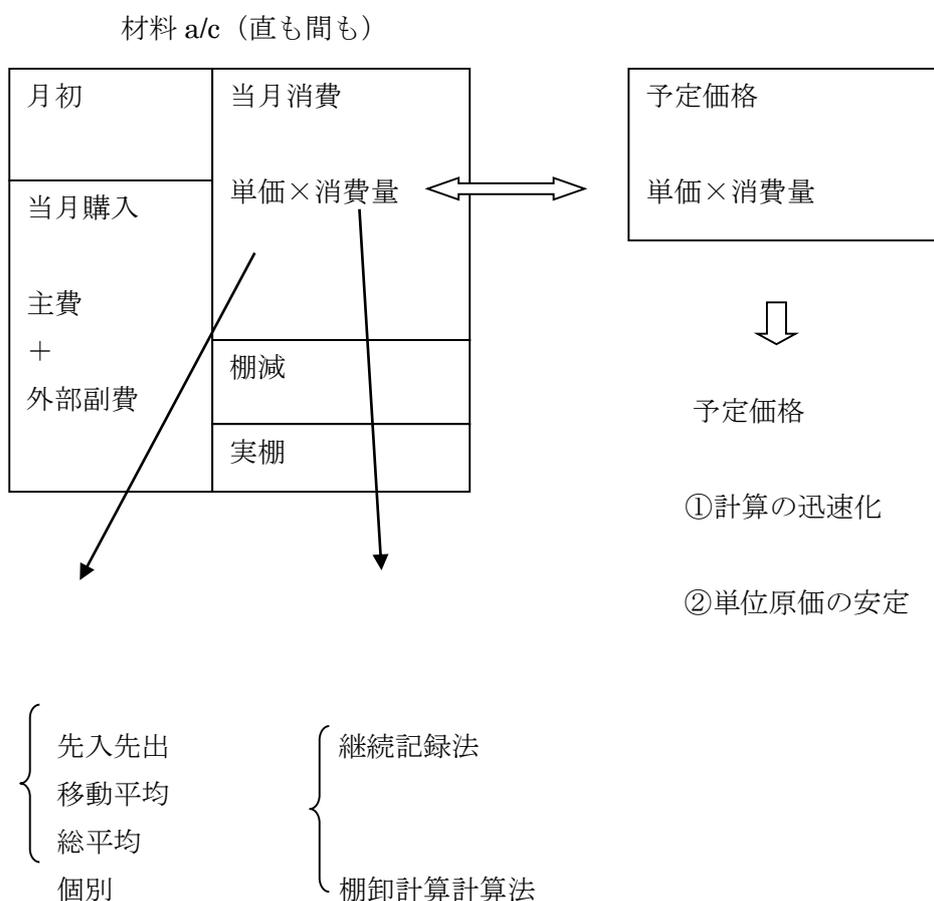
∴材料消費という考えではなく、ロスという間接経費でとらえます

FIFO での棚卸減耗費は最後に仕入れた単価（月末@と同じ単価）で計算

予定価格採用時でも実際価格で計算（予定価格は消費時に使用・・・減耗は消費とは考えない）

異常な棚卸減耗は製造原価ではなく、特別損失として計上する

材料勘定のまとめ方



内部副費

→ 製造間接費へいくケースが多い（取得原価算入は実務的に大変だから）

<例題>

次の資料を参考に材料勘定を完成しなさい

当社では2種類の材料を使用して製品Aを製作している。

X材料を素材として、Y材料を補助材料として使用しています。

X材料については前年の実績を参考に、価格は円安を想定して対前年5%増で設定し予定配賦を行っています。

前年購入数量 10,000Kg 前年購入価格 9,000,000 円

材料の月初有高、当月仕入高は以下の通りである（なお、価格は実際価格である）

（実際消費価格の計算：Xは総平均法、Yは先入先出法による）

	月初棚卸高		当月仕入高（掛）	
	数量	価格	数量	価格数量
X	200	@950	800	@980
Y	100	@500	400	@550

当社では消費量の計算は、直接材料Xは継続記録法により、間接材料Yは棚卸計算法により計算している。

Xの当月実際消費量は850、月末実地棚卸高は100であった。

Yの月末実地棚卸高は50であった

上記の他、消耗工具を現金で10,000円購入している

<解答>



材料			
前月繰越	( 240,000)	仕掛品	(803,250)
買掛金	( 1,004,000)	製造間接費	(301,200)
現金	( 10,000)	材料消費価格差異	(24,650)
		次月繰越	(124,900)
	( 1,254,000)		(1,254,000)

## ちょっと一息

### ●強運

私は運が強い方だと思います。

母親のお腹の上に兄が飛び乗り8か月で登場。息をしていなかったようだが、産婆さんの強烈な往復ビンタで蘇生。

小学校4年まで交通事故にあうこと十数回。そのうち2回は新聞に「坊や！奇跡的に助かる」と掲載されたようです（なぜか、その新聞は残っていない）。ただ単に、「どんくさい」少年だったという声も……

大学入試。父親から2浪はダメ！といわれ、4大学6学部を受験。一番自信があったのが関西大学（社会学部）、最も自信がなかったのが第一志望の立命館大学（法学部）。立命の試験の前日にみた旺文社のラジオ講座の録音カセットから1本抜いた古文の問題が「そのまま」出て、さらに休憩時間に開いた世界史の参考書、一番配点の多い記述式にその問題が出た。そしてその年の最低点での合格（後から学校が教えてくれた）。この年、通ったのは第一志望のみ。もしも、どちらか外れていたら今頃は日本のスパルバークといわれていたはず（映画の専門学校に行く予定だった）……

極め付けは独立最初の仕事。前職の退職時に取引先が開いてくれた送別野球大会。当時は阪神タイガースの亀山選手のヘッドスライディングが流行っており、私も調子によって……アキレス腱と肩の筋肉の断裂。このお蔭で送別ゴルフはキャンセル。時間があいたので、前職の担当者からの 세미나講師依頼を引き受け、そこで出会ったお客さんから大口受注。借金だらけで独立し、1か月で倒産？の危機を回避でき、その後は順調に業績UP！！

これこそ、まさに人間万事塞翁が馬！



講師横山の著書

「弥生検定攻略テキスト」

コラムより抜粋